

「肝胆膵疾患患者における線維化と発癌に対する新規糖鎖マーカーの開発と性能評価」に
参加された患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	切除不能肝細胞癌に対する薬物療法シークエンスに関するレジストリー研究
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 内科学講座(肝胆膵内科)(職名) 教授(氏名) 伊藤清顕
研究の対象となる方	2020年9月から2025年12月31日までに「肝胆膵疾患患者における線維化と発癌に対する新規糖鎖マーカーの開発と性能評価」に参加された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028年3月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 切除不能肝細胞癌に対する全身薬物療法が適応となる患者さんを対象に、免疫チェックポイント阻害剤の治療効果があるかどうかを調べることを目的としています。 〔利用方法〕 保存されている血液や情報を用いて、治療開始後の有効性と安全性を調べます。また次の薬物療法にうつる際の薬物選択の根拠や移行率などの調査を行います。 〔外部への試料・情報の提供〕 誰のものか分からないよう研究用の番号を付した試料・情報を三重大学医学部附属病院へ送付し、評価、解析を行います。 〔外部への提供開始日〕 研究実施承認日
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：肝胆膵内科研究室で保存している血液を使用 情報：診療録から年齢、性別、既往歴、血液検査結果、画像所見等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	三重大学医学部附属病院 中川 勇人
試料・情報を利用する学外の者	三重大学医学部附属病院 中川 勇人
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年12月31

は提供を希望しない 場合	日までに郵送、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報 の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部内科学講座（肝胆膵内科） 担当者：(職名) 准教授（特任） （氏名） 荒井潤 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 23486）